

取扱説明書

凝縮水連続排出装置 ST-J

株式会社スチームテック

はじめに

このたびは、凝縮水連続排出装置 ST-J をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本製品は、メーカーが出荷前に十分な検査をして出荷しお客様にお届け致しておりますが、まず本製品がお手元に届きましたら、現品がご希望の仕様と相違ないことをお確かめ下さい。

このスチームトラップは、ご使用時に凝縮水とともに排出される蒸気のロスを大幅に削減すると共に、凝縮水を瞬時に絶え間なく排出することにより、ご使用になる設備の温度の上昇を早め、安定的に保持することを目的に開発されたものです。

製品は、SUS304を使用しており、長期にわたり性能が劣化することなくご使用いただけます。

取り付け及びご使用に際しては、本取扱説明書に基づき、正しく安全にお取り扱いくださるよう、お願い致します。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください
- 注意事項は危険や損害の度合いに応じて、「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。何れも安全に関する重要な内容なので、必ずお守り頂くようお願いいたします。なお、これらの注意に従わなかったことより生じた損害、事故については、当社は一切責任を負いません。

略記号



危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。



危険

人が死亡又は重症を負う差し迫った危険の発生が想定される内容



警告

人が死亡又は重症を負う可能性が想定される内容



注意

人が障害を負う可能性および物的損傷の発生が想定される内容



注意

製品を正しく設置し、製品の最高許容圧力以上の圧力では絶対に使用しないでください。

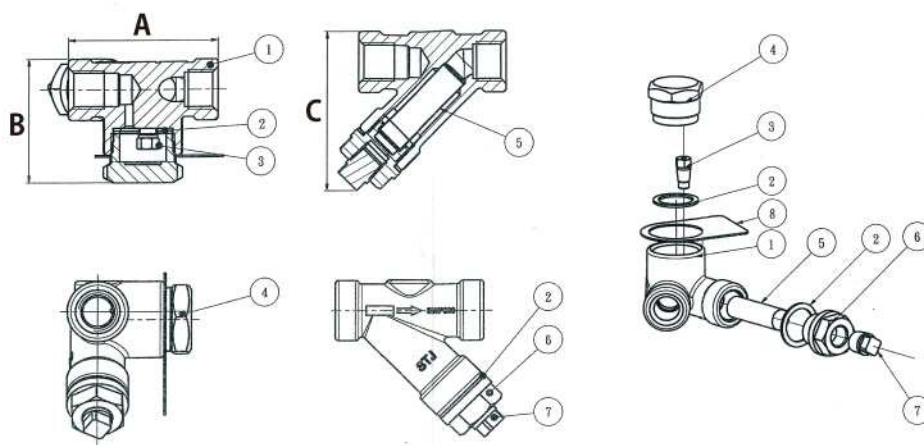
製品の破損、異常作動等により重大な事故を招く可能性があります。

製品の出口側開口部は、直接人が触れないようにしてください。
流体を排出し、ケガ、火傷等をする恐れがあります。

部品を取り外す時には、製品内部の圧力が大気圧になり、製品表面温度が室温になってから行なってください。

製品に圧力、温度が加わっている場合は、火傷、ケガ等をする場合があります。

各部の名称及び仕様



| model | A | B | C |
|-------|---------|------|--------|
| 15A | 82±2 | 67±3 | 90.5±5 |
| 20A | 92.5±2 | 74±3 | 108±5 |
| 25A | 107.5±2 | 79±3 | 110±5 |

| No. | 部品名称 |
|-----|---------------|
| 1 | ボディ |
| 2 | ガスケット |
| 3 | ノズル |
| 4 | エンドキャップ |
| 5 | ストレーナー |
| 6 | ストレーナーエンドキャップ |
| 7 | スチームプラグ |
| 8 | ノズルタグ |

製品の取付



注意

製品を正しく設置し、製品の最高許容圧力以上の圧力では絶対に使用しないでください。

製品の破損、異常作動等により重大な事故を招く可能性があります。



注意

製品の出口側開口部は、直接人が触れないようにしてください。

流体を排出し、**ケガ**、**火傷**等をする恐れがあります。



注意

部品を取り外す時には、製品内部の圧力が大気圧になり、製品表面温度が室温になってから行なってください。

製品に圧力、温度が加わっている場合は、**ケガ**、**火傷**等をする場合があります。

1. 入り口弁を開け、ブローして配管工事クズ等を排除して下さい。ブロー後入り口弁を閉じます。
2. エンドキャップを外して、ノズルが所定のサイズのものであるか、確認してください。(サイズ番号はノズルの頭部側面に刻印しています。)
3. ドレンの流れる方向にトラップ本体上の矢印を合わせて取り付けます。
4. 取り付け方向は、水平で、エンドキャップが正面を向く方向に取り付けてください。
エンドキャップが上向きに取り付けも可能ですが、ストレーナープラグよりボールバルブする場合、高温のドレンが横にブローされますので、排出時に危険が無いよう充分配慮する必要があります。
5. ドレン出口弁を取り付けます。
6. ストレーナーエンドキャップを外し、ボールバルブを取り付けてください。ボールバルブは、ブローダウン時の作業を容易にする為に取り付けます。
7. ボールバルブを閉じて、出入り口弁を開き、トラップが正常に作動していることを確認してください。

ネジのシールと締め付け



注意

部品を取り外す時には、製品内部の圧力が大気圧になり、製品表面温度が**室温**になってから行なってください。
製品に圧力、温度が加わっている場合は、**火傷**、**ケガ**等をする場合があります。



注意

製品の出口側開口部は、直接人が触れないようにしてください。
流体を排出し、**ケガ**、**火傷**等をする恐れがあります。

1. 配管とST-J(ネジ込み式)の接続

- シール材を配管のネジ込み部に塗布または巻き付けして下さい。
- 配管にネジ込み式のST-Jを接続する場合、過大なトルクを加えないようにしてください。
- 締め付けには、300mm程度のパイプレンチを使用して「止まり」の位置まで締め込めば十分です。

2. ストレーナーエンドキャップとボールバルブの接合

- ボールバルブ用開口部は、通常スチームプラグにより閉じられていますが、メンテナンス時のスチームプラグの取り外しの手間を省くため、ボールバルブの取り付けをおすすめします。
- ストレーナーエンドキャップとボールバルブとは、ジョイントを介して接合します。
- ST-Jのスチームプラグを外し、適合する径のジョイントのネジ込み部にシール材を塗布または巻き付けしてネジ込んでください。
- ジョイントの他の一端のネジ込み部にシール材を塗布または巻き付けして、ボールバルブにネジ込んでください。
- ボールバルブの出口側に、ボールバルブ用配管を、シール材を塗布または巻き付けして取り付けして下さい。

3. ストレーナーエンドキャップの締め付け
 - ストレーナーガasketを挟んで、締め付けトルク30N・m程度のトルクで締め付けてください。
 - 締め付け時には、必ず焼付防止剤を使用してください。
 - シール材を塗布又は巻きつけて下さい。

4. エンドキャップの締め付け
 - ST-J内部に専用ガasketが設置されていることを確認して、締め付けトルク20N・m程度で締め付けてください。
 - 締め付け時には、焼付防止剤を使用してください。
 - シール材を塗布又は巻きつけて下さい。

5. ベンチュリーノズルの締め付け
 - ベンチュリーノズルの脱着は、10番のレンチを使用して下さい。
 - ベンチュリーノズルの締め付けは、まず、手でノズルを正しくねじ込み後レンチにて17.9N・m程度で軽く締め付けて下さい。
 - 材質がSUS304の為強く締め付け過ぎるとネジ(テーパー)が破損してしまう事があります。

6. スチームプラグの締め付け(ボールバルブを取り付けない場合)
 - スチームプラグの取り付け時には、シール材を塗布又は巻きつけて下さい。

メンテナンス



注意

部品を取り外す時には、製品内部の圧力が大気圧になり、製品表面温度が**室温**になってから行なってください。
製品に圧力、温度が加わっている場合は、**火傷**、**ケガ**等をする場合があります。



注意

製品の出口側開口部は、直接人が触れないようにしてください。
流体を排出し、**ケガ**、**火傷**等をする恐れがあります。

1. 1次側の蒸気供給を止める(トラップ入口側・出口側両方のストップ弁を閉じる)
2. メンテナンス弁を開放してトラップ内の残圧(高温凝縮水)を排出する
3. **温度低下**を確認後、エンドキャップを外す
4. ノズルを外して、目詰まりした異物を取り除いた後水洗いする
5. ノズルを付けてエンドキャップをしめる
6. 1次側の蒸気供給を再開する(ストップ弁を開ける)

*** 注意事項 ***

上記作業は**火傷**防止上、**取外し**等作業時は**皮手袋**等を着用して行う事！

カスタマーセンター:

株式会社スチームテック

〒590-0001 大阪府堺市堺区遠里小野町2丁3-25 TEL.072-227-8188